

はな みず き

花水木

「花と緑のある美しい街づくり」を目指して、市民の皆様と都市緑化振興事業に取り組んでいます。

新年度からは、「オープンガーデン」や「森の中の冒険あそび場」などの新規事業を開始します。

ちとせオープンガーデンが始まります

1927年、ガーデニングの本場である英国でオープンガーデンが始まりました。個人庭園をチャリティーで公開するもので、通称「イエローブック」と呼ばれるガイドブックに掲載され、そのガイドブックを片手に素敵なお庭を訪ね歩いて楽しめます。千歳市内では、平成30年度から個人庭主の方々のご協力をいただき、「ちとせオープンガーデン」がスタートします。

富良野にある風のガーデンを参考に、宿根草中心の庭園づくりを始めた畠山さん。手作り小物や、ステキな置物などがあるお庭です。



若草 西嶋邸

雑木林に囲まれた西嶋さんのお庭は、自生する山野草や寒冷地向けの宿根草が植えられています。玄関前では皆さんをバラがお出迎えします。



白樺 畠山邸



緑町 石田邸

石田さんのお庭は、たくさんの雑木やセンスの良いお花がある緑いっぱいの庭園です。ご近所さんも訪れるなど、素敵な出会いがあります。

<目次>

- GARDEN STORY . . . p2
- ちとせオープンガーデン . . . p3
- 森の中の冒険あそび場 . . . p4
- 青葉公園自然観察会 . . . p5
- 巨木をめぐるウォークラリー . . . p5
- 花いっぱいコンクール . . . p6
- 花と緑いっぱい写真コンテスト . . . p6
- 水と緑の絵コンクール . . . p7
- 花と緑のフェスタ . . . p7
- 都市緑化振興事業の紹介 . . . p8



GARDEN STORY

緑に囲まれた暮らし

庭作りをはじめたのは今から約17年前になります。当時は、庭に芝生を張って少しの花と木を植えました。寄せ植えは、デザインを含め夫が担当し、玄関先や門の周りを飾り、お客さんを「おもてなしの心」で迎えておりました。私は、お庭全体のデザインを担当し植木屋さんを巡りアドバイスをうけて、枝が風にそよ



オーナー
石田 絢子さん



石田さんのお庭

ぐ風情を感じられるような木を選びデザインしました。現在は、「アオハダ」、「ツリバナ」、「ヤマボウシ」などの株立ちが庭のシンボルツリーとなり、草木の種類も100種類を超え、緑に囲まれた暮らしを満喫しています。家とのバランスがとれた庭を維持するため、手入れを行っておりですが、散歩の方やご近所さんから自分の庭作りの参考にしたいと声をかけられ、交流を楽しんでおります。



西嶋さんのお庭

森のような庭園を

十数年前に、私たち夫婦は静かな住宅地に憧れて、自然の残されたこの場所に移住してきました。私の庭づくりは、森をイメージし、北海道の気候にあった花や樹木を選び植えたことが始まりです。当時は、自然を生かした庭のデザインや植物の選定にずいぶん苦労しましたが、現在の庭



オーナー
西嶋 和子さん

は100種類以上の宿根草や山野草、樹木などの多くの植物が、自然に生き生きと育っています。小鳥なども訪れ、森のような庭園を夫婦で楽しんでおります。また、初夏から咲き始めるクレマチスやフウロ草、ホスタを中心とした多様なグリーンや自宅の前面を覆うバラ（ポールズヒマラヤンムスク）が皆さんをお出迎えします。





オープンガーデンに参加しませんか？

庭主さんを募集しています



花は人の心をいやし、人と人の輪を広げ、多くの出会いを生みます。
財団では、市内全域を対象に、心をこめて手入れしているお庭を無料で公開していただき、「花と緑のある美しい街づくり」を進めます。



応募資格は？

市内全域が対象です。千歳市民であれば誰でも参加できます。
(個人、法人を問いません)

公開する庭の条件はありますか？

草花の庭、野菜(トマト等)の庭、ハーブの庭、葉っぱの庭、寄せ植えコンテナの庭、ハンギングバスケットの庭、樹木の庭など。 ※小さなお庭でも無料で公開できるならOKです。

申し込み期限は？

オープンガーデンの登録申込みは、随時受け付けています。新年度のガイドブックに掲載するため、毎年4月末日までに申し込んでください。

庭の公開日は？

6月から9月までの間で、1日だけの公開でもOKです。公開できる日をお申し出ください。
(共通公開日は、7月第1週の土日を予定)

上記内容でオープンしてくださる庭主さんを募集し、そのお庭の場所を示す地図や公開日を載せたガイドブックを作成します。

※ 事業の詳細は、下記にお問い合わせください。



オープンガーデンでは、市民の皆様はガイドブックを片手にお庭を訪れ、心地よい時間を過ごします。

応募方法

氏名、住所、電話番号を電話、FAX、ハガキ、Eメールのいずれかの方法で応募ください。後日、応募用紙をお送りします。

<応募先>

公益財団法人ちとせ環境と緑の財団
〒066-0047 千歳市本町3丁目21番地
電話 0123-22-1117 FAX 0123-22-1118
Eメール info@chitosekankyou-midori.or.jp

千歳の まちなかで自然を楽しむ

平成 30 年度自然とのふれあい教室

森の中の冒険あそび場

子どもたちが森の中で、落ち葉や自然の素材を使って様々な遊びを展開します。禁止するのではなく、一緒に考えてやってみる。のびのびと遊べる場所は、子どもの生きる力を育みます。

平成 30 年度開催予定

- 第1回 5月12日(土)~講習会
- 第2回 6月23日(土)~体験会
- 第3回 8月11日(土)~体験会

多くの親子の参加をお待ちしています

ヨーロッパでは森林の中で、子どもの主体的な遊びや学びを促すことを通じ、感性の豊かさや心身の健康・体力、創造性や社会性、豊かな人間性を育む「プレーパーク」や「森のようちえん」の活動があります。

財団では、「自然とのふれあい教室」の一環として、青葉公園の中で、大人が子どもの遊びを見守ることで、子どもが自由な発想で遊びを展開する「森の中の冒険あそび場」をスタートします。



自然の中での「遊び」を学びませんか？

森の中の冒険あそび場
はじまります！

子どもたちの「やりたい！」という気持ちにそっと寄り添い、多少の冒険には手出し口出しをしないことで、子どもたちから湧き上がる主体性を大切に育んでいます。

春の力強い芽生えや夏に動き出す生き物、色づく紅葉の不思議さ、冬の輝く雪の美しさを親子一緒に、そしてお友だちと一緒に、全身で感じ取り過ごす。

自分の思い通りにはならない自然の中で、伸びやかな心と身体が育っていきます。

見守る大人も、「どんな言葉がけをしようか？」「どこまで見守ろうか？」「こんなときどうしたらいい？」と、みんななで悩み、相談しながら子どもたちと一緒に成長していけるのが「といたい」の魅力です。

といたいルールは三つ
「とことん遊ぶ」「見守る」「ダメ早く汚いは使わない」



「自然の中だからこそその子育てを」
私たちは、千歳市の森・川・湖を使い、自然の中だからこそできるのびのびとした子育てを行う活動をしています。



といたい代表 松澤 菜緒さん



青葉公園の豆知識



昭和30年代から神社山公園として愛されている「青葉公園」は、明治中期から昭和22年まで「御料林」（皇室の財産）でしたが、以後国有保安林に編入され、昭和27年4月に名称が「青葉公園」となりました。

長年、「御料林」として保護されていたため、公園内には貴重な植物が多く自生しており、特に幹周3mを超える巨木が32本程度残っています。



青葉公園自然観察会

（6月中旬開催予定）

青葉公園には、約360種類の草花や樹木が生息しているといわれていますが、青葉公園自然観察会では、専門家の講師を招いて、青葉公園の草や花の名称や植生などについて学びます。

また、青葉公園の貴重な自然の大切さについて、自然観察会を通して知識を深めます。



巨木をめぐるウォークラリー

（6月～8月実施予定）

巨木をめぐるウォークラリーは、青葉公園の園路沿いに、ハルニレ、ミズナラ、コナラ、カツラの推定樹齢が300年を超える巨木15本をめぐるります。

巨木には、樹種や樹齢が分かる「樹木プレート」を設置しており、「ひらがな一字」が書いてありますので、財団事務所で回答用紙をもらい、キーワードを記入すると参加賞をプレゼントします。

平成29年度は、市内の幼稚園や学童クラブ、ボーイスカウト、親子など、合計561名の参加がありました。

平成30年度も、親子連れや児童グループでの参加をお待ちしています。



ウォークラリーの引率者マニュアルをご希望の方は、財団までご連絡ください。



巨木をめぐるウォークラリー 青葉公園コース図

公益財団法人
ちとせ環境と緑の財団

千歳市本町3丁目21番地（千歳神社の入口）
電話 22-1117 26-1213 FAX 22-1118
<http://www.chitosekankyou-midori.or.jp/>

【参加賞の交換場所】
ちとせ環境と緑の財団 事務所

千歳へ
●虫よけスプレーをしましょう。
●野菜に触れないようにしましょう。
●森の中に入らないようにしましょう。
●保護者又は引率者が同行しましょう。

財団HP

青葉公園コース図を参考にすることで、自由にコースを設定し、巨木をめぐることができます。

花いっぱいコンクール

花と緑があふれるまちづくりを推進するため、町内会・学校・福祉施設などに花苗等を無料で配布し、審査により優秀な花壇を表彰しています。(花壇部門、フラワーロード部門、ガーデン部門)

平成 29 年度は 213 団体・個人が参加し、各部門の最優秀賞の受賞団体等は次のとおりです。



花壇部門 町内会の部
豊里町内会

【審査コメント】
ハスカップ公園内にある花壇に手作りの看板を設置し、地域で協力して花を育てている。



花壇部門 幼稚園等の部
市立認定こども園つばさ

【審査コメント】
全体のバランスが良く、デザインが工夫されている。雑草もきれいに取り除かれている。



花壇部門 小学校の部
市立桜木小学校

【審査コメント】
1つ1つの花が大きく開花し、株のボリュームや暑さに負けない丈夫な花を育てている。



花壇部門 中学校等の部
千歳科学技術大学

【審査コメント】
花の形やデザインが良く、花がいきいきしており、全体的に素晴らしい花壇となっている。



花壇部門 福祉施設の部
千歳病院 (園芸活動)

【審査コメント】
花壇の面積は、小さめだが、玄関前に効果的に配置されている。また、園芸療法に活用されている。



フラワーロード部門
文京1丁目町内会

【審査コメント】
道路に沿ってデザインに変化を持たせ、メリハリをつけており、切り戻し剪定や管理方法に工夫がみられる。



ガーデン部門
西野 アキ子さん

【審査コメント】
花の管理、技術のノウハウ、それらの蓄積に圧倒され素晴らしい庭園となっている。



花と緑いっぱい写真コンテスト

緑化意識の高揚を図るため、花のある風景、花と触れ合う人、花と子どもの笑顔などを題材とした写真を募集し、優秀な作品を表彰しています。(一般部門、スナップ部門)

平成 29 年度は 49 作品の応募があり、各部門のグランプリ、金賞の作品は次のとおりです。



一般部門 グランプリ
「通学路」吉田 憲作さん

【審査コメント】
日常の何気ない通学風景をバックに美しいアヤマの姿を見事に描写した作品です。



スナップ部門 グランプリ
「お花の髪飾り」小濱 由佳さん

【審査コメント】
コスモスが美しく、子どもの表情がいききと表現され、かわいらしさを感じる作品です。



一般部門 金賞
「春のいざない」
久保田 雅代さん



一般部門 金賞
「娘とたんぽぽ」
黒澤 孝督さん



スナップ部門 金賞
「クワガタムシ」
津田 嶺哉さん



スナップ部門 金賞
「私の庭は宝物」
矢木 初江さん

水と緑の絵コンクール

次代を担う子どもたちに水と緑に興味を持ち理解を深めてもらうため、市内の小学4年生から6年生までを対象に、水と緑を題材とした作品を募集し、優秀な作品を表彰しています。

平成29年度は13校から518作品の応募があり、金賞、銀賞、銅賞の受賞者は次のとおりです。

<金賞>



「夕焼けの畑」
東小 竹嶋 沙織さん

【講評】

夕焼けに染まる空と収穫後の麦畑の広がりを情感豊かにとらえています。大地のうねりで遠近感を、収穫後の株など質感も豊かに表現されています。

<銀賞>



「勢いよく流れる水」
北栄小 平田 千波さん

【講評】

人工物にある水の流れに目を向けたところに素晴らしさを感じます。階段部分などの色味に変化をつけたことや流れる水の表現など的確です。



「千歳川」
千歳小 福家 碧紀さん

【講評】

澄み切った空と清らかな川の流れを目にした時の感動がよく表現されています。タッチに工夫がみられ、木や草が生きていることが実感できます。

<銅賞>



「支笏湖」
北栄小 佐々木 結愛さん



「鉄橋と山と湖」
北栄小 高椋 あすかさん



「校舎」
末広小 小澤 未来さん



「さわやかなの池」
桜木小 谷口 陽飛さん



「千歳川の様子」
緑小 佐々木 彩乃さん



「千歳川」
緑小 湯村 菜穂さん



「いろいろな木」
日の出小 田内 絢菜さん



「クローバーとタンポポ」
日の出小 岡部 莉季さん



「林から見た学校」
向陽台小 園田 善士さん



「お花畑」
北進小 蔭山 美優さん



「夏から秋へ」
北陽小 鶴田 彩七さん



「かだん」
北進小 森浦 愛来さん



「ミニトマト」
北進小 瀧 亮太さん



「メムシ公園の木」
日の出小 上谷 匠さん

※学校名は受賞当時、銀賞・銅賞は順不同。

花と緑のフェスタのご案内 5月17日～20日開催

5月17日から20日までの4日間、花苗や野菜苗を1株50円から販売します。また、花苗等の購入割引券配布、花苗等無料プレゼント、プリザーブドフラワー講習会、飲食コーナー、キッチンガーデン展示などを予定しています。



(平成29年度来場者数：約11,000人)



フェスタのステージでは、メモリアルツリー贈呈式や無料抽選会を開催します。

【新規イベント】

- 寄せ植えコンテナの無料抽選会
(土・日に各20セットを抽選)
- 寄せ植えのデモンストレーション
- 大好きな人に花束プレゼント
(土・日に各1組を募集)

※親子間、夫婦間もOK



平成30年度 都市緑化振興事業の紹介

No.	事業名	事業内容	開催時期・会場等
1	花と緑のフェスタ	寄せ植えコンテナ無料抽選会、花苗等購入割引券、花苗等プレゼント、花苗等安価販売、飲食コーナーなど	5月17～20日開催 グリーンベルト
2	花いっぱいコンクール	町内会・学校・福祉施設などに花苗等を無料で配布し、花壇やフラワーロード等を審査・表彰	4月に募集 8月下旬表彰
3	花と緑の絵コンクール	小学4年生～6年生の皆さんに、花・緑・水をテーマとした写生画を募集し、優秀作品を表彰	7月～10月に募集 10月下旬表彰
4	花と緑の写真コンテスト	庭の草花、緑に親しむ様子、花と子供の笑顔などの写真を募集し、優秀作品を表彰（一般部門、スナップ部門）	7月～10月に募集 10月下旬表彰
5	緑の相談	庭木の剪定や鉢植えの管理などについてのお困り事相談	4月～10月
6	園芸教室	花と野菜のポタジェ、秋から始めるガーデニング、冬の間に楽しめる寄せ植え作りなどの教室	5月・11月・12月 開催
7	花と野菜の学校※	親子で楽しむ花や野菜を育てるコツ、ハロウィンで飾る手作りかぼちゃなど（親子参加教室）	5月・10月開催
8	寄せ植え講習会ほか	色あざやかなプリザーブドフラワーや管理に手間がかからない多肉植物などで楽しめる作品を親子で作る	5月17～20日開催 グリーンベルト
9	花と緑の講演会	ガーデニングに関する講演会（花の植栽場所やデザインのアドバイスなどを楽しむ）	3月上旬開催
10	緑化リーダー研修	ガーデニングの知識や技術を学ぶ研修、バス見学	5月・9月実施
11	ちとせ花めぐり見学会（バス見学）	個人のお庭、花いっぱいコンクールに参加した花壇やフラワーロードなどをバスに乗って見学	6月・7月・8月 開催
12	ちとせオープンガーデン※	ガイドブックを片手に個人庭園等を訪ね歩き、ガーデニングのヒントを得たり、お花の話で交流	6月～9月実施
13	青葉公園自然観察会	青葉公園の草花などについて知識を深める教室	6月開催 青葉公園
14	巨木をめぐるウォークラリー	親子や児童グループが青葉公園内の巨木を見つけ、樹木プレートにあるパスワードを記入する（参加賞贈呈）	6月～8月実施 青葉公園
15	森の中の冒険あそび場※	幼児や小学生が森の中で遊び場をつくり、冒険しながら自然とふれあう親子参加の講習会・体験会	5月・6月・8月 青葉公園等
16	メモリアルツリープレゼント	人生の節目となる慶事（出生・入学・結婚・自宅購入・還暦）を迎えた方に、苗木や鉢植えを無料プレゼント	4月～募集
17	植樹会	町内会、学校などに、植樹用の苗木を無料配布	6月～11月募集
18	樹木名板取付会	学校などを対象に、樹木の名前を記入する板を無料配布	6月～11月募集
19	フラワーポット貸出事業	事業者や商店街を対象に、フラワーポットを無料貸出	6月～7月募集
20	樹木等の再利用の情報提供	庭木や鉢植えを手放す方からの情報を提供	4月～3月募集
21	緑化広報誌「花水木」発行	都市緑化振興事業の情報を掲載した広報誌を発行	3月下旬発行
22	ポスター・カレンダー発行	コンクールやコンテストのポスターやカレンダーを発行	8月～12月発行
23	コンクール受賞作品展示会	花いっぱいコンクール、花と緑の絵コンクール、花と緑の写真コンテストの受賞作品を公共施設に展示	11月開催 北ガス文化ホール予定

※新規事業

事業の詳細は、財団事務所（電話 22-1117）にお問い合わせください。

「水と緑のふれあい基金運用事業」のお知らせ

水と緑のふれあい基金は、皆さんからのご寄付を積み立て、運用益を活用して、「植樹会」「フラワーポット貸出事業」「緑化リーダー研修会」「カレンダー発行」を実施しております。多くの皆さんからのご寄付をお待ちしております。

平成29年度にご寄付いただいた皆さん

- ・自治労千歳市職員労働組合 様
- ・千歳市環境整備事業協同組合 様
- その他匿名でご寄付いただきました。